UNESCO　Associated　School

泉の学び舎　世田谷区立中里小学校

**子どもが力いっぱい活動し、学び育つ学校を目指して**

**「未来を拓く　この一日が　ひかる」**

**～ユネスコスクールから世界に羽ばたく子どもの育成～**



ユネスコスクール：持続可能な開発のための教育

中里小学校は、世田谷区立小学校で唯一のユネスコスクールとして、持続可能な開発のための教育（ESD：Education for Sustainable Development）を実践しています。

今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。ESDでは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出し、それによって持続可能な社会を創造していく担い手を育む教育です。

ESDの実践の観点

○人格の発達や、自律心、判断力、責任感などの人間性を育むこと。

○他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し「関わり」「つながり」を尊重できる個人を育むこと。

中里小学校のESDの実践の観点

中里小学校

ESDのテーマ

中里小学校の教育目標

○健康でたくましい子ども

○よく考え最後までやりぬく子ども

○仲よく助けあう子ども

**日本の伝統を重んじ、国際理解を推進する「グローバルスクール」**



全ての教育活動において、人権尊重の精神を基調に、思いやりの心やボランティア精神を身に付けた人間性豊かな子どもに育ってほしいと願っています。そのために、幼稚園や「泉の学び舎（三宿中学校、三宿小学校、池尻小学校、中里小学校）」と連携し、地域の一員として、社会に貢献する生き方を考えられる教育活動をすすめています。子どもたちが、学校や地域に誇りをもち、社会生活の基本的ルールを身に付けるために、家庭教育の支えの上に、地域等の教育力を活用しながら、心をはぐくむために道徳教育の充実を図っています。

多文化理解





社会の変化に主体的に対応し、様々な人と共に生きていくための行動力と豊かな国際感覚を身に付けるため、世田谷区の姉妹都市オーストラリア国バンバリー市の小学校や姉妹校松本市立山辺小学校との交流を図ることで、多文化理解ができる教育活動を行っています。

健康教育







進んで心と体の健康の保持増進に努め、自他の生命を尊重し、よりよく生きようとする力をはぐくんでいます。全教育領域を通して、健康教育や食育、安全教育、防災教育などの教育課題に取り組んでいます。また、心と体の健康づくりや体力づくりを日常的に実践しています。

環境教育





身近な生き物の観察や、生き物の分布の地域を比較して、生き物と環境のつながりの学習や私達の生活から生態系や環境問題につなげる活動を行うことで、地球規模での今日的な課題に関心をもち、解決に向けた実践に結び付けられる教育をすすめています。

福祉教育





学ぶ喜びを実感し、一人ひとりの心身の発達や個性・能力の違いを認め合う中で、自他のよさを伸ばそうとする子どもになってほしいと願っています。異学年での交流や学習活動を積極的に取り入れています。また、家庭・地域・関係機関と連携して、高齢者施設訪問など直接的な体験学習の場やタブレット型パソコンなどICTを利活用した間接的な体験学習の場をもち、豊かな想像力を醸成しています。